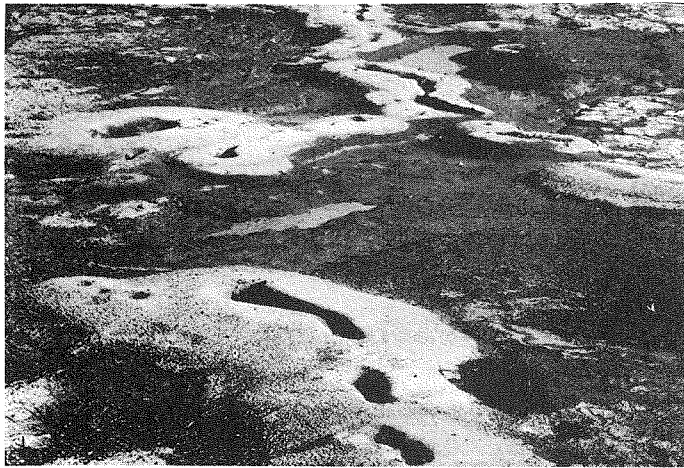
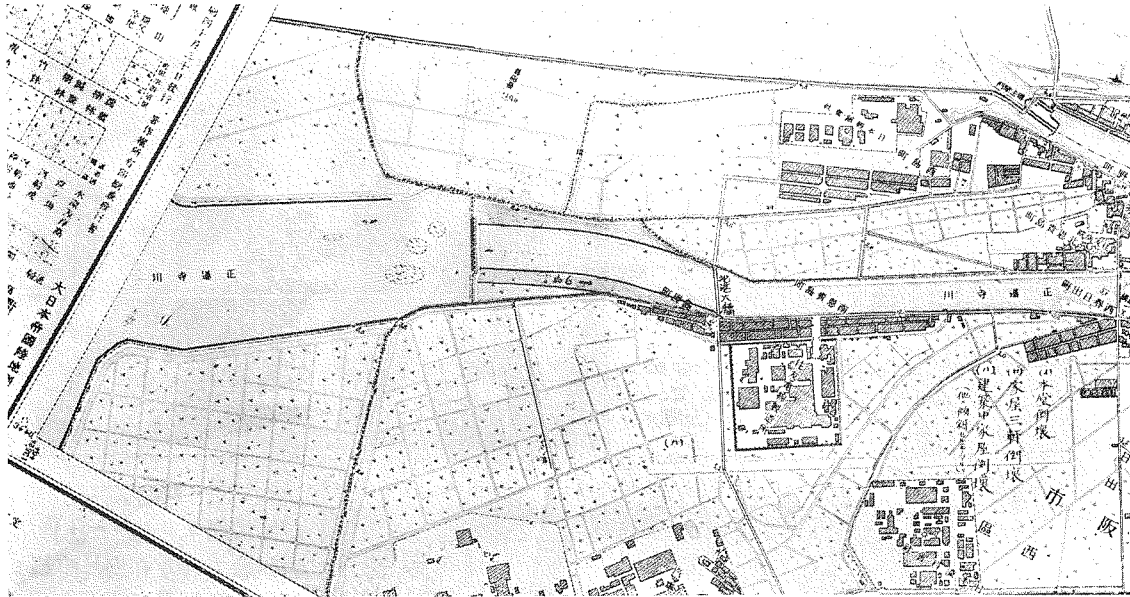


(1) 大阪市中津川沿岸震災被害地平面圖 (昭和貳年參月七日午後六時三十分)



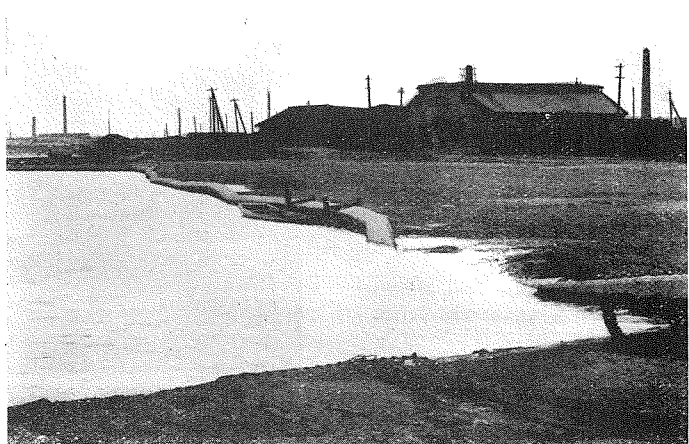
寫眞狀況の箇所は地圖の中に中津川の文字を挟みたる兩岸に矢印にてNoの番號を附せり。以下順次に下流地帯に及ぶ。

(2) 地震の爲め生じたる砂地の孔
混凝土護岸線より約40間位の處を示す(地圖にてNo1の箇處) 澤山の噴出孔ありて當時盛に湧水せし跡明かなり、孔外に堆積せる土砂は充分洗滌されたるが如し、孔徑は約3-4寸なり
(2) The Holes from which Water Gushed after the Earthquake.

(3) 混凝土護岸工の破壊の狀況を示す(地圖にてNo3の箇處)

護岸は一間の間隔を置きて20尺のコンクリート杭をウオータゼットにて建込み、之に幅一間、高さ四尺のコンクリート板三枚を挿入し、杭の根入は十四尺にして三間半を隔て、連続控に取付けた。破壊の狀況は約一間乃至一間半位前方に轉倒し、或は控へ其ものを引寄せ又は切斷せり。切斷せるものは上部笠石剥脱して水中に没せり。

(3) View of Damaged Concrete Embankment by the Earthquake.



(1) Map of the Coast of Nakatsugawa, Osaka, where Damaged by the Earthquake at 6:30 P.M., March 7, 1927.

前 前 半 地 震 後 災 災 岸 沿 川 津 中 市 阪 大
分 上 三 時 六 分 午 日 七 月 癸 年 祿 和 昭



地震被害 本年三月七日の奥丹後の大震災はの一研究 大阪方面でも相當の被害があつて其斷片的な慘害狀況は工事畫報四月號に紹介したが、爰に紹介するものは大阪市の北部を貫流する中津川の沿岸に生じた被害の狀況を、大阪府土木部の正蓮寺川改修工事監督所の技手西岡英男氏が系統的に蒐められたものゝ一部である。

(4) 地震の爲め埋立地の龜裂 (地圖に於てNo6の箇所)
正蓮寺川北港大橋下流左岸、埋立地龜裂の狀況を示す。龜裂の幅二尺に及び高低一尺五寸位なり、方向は護岸に平行北東々を示す。
(4) Cracks Caused by the Earthquake.



(5) 帝國製麻株式会社大阪製品工場 貯水タンク 倒壞の狀況を示す (地圖にてNo5の箇所)
タンクの様式は鐵筋コンクリート四柱スラブ式塔なり、柱は其根元にて約二尺角、上下二ヶ所の梁木ありて高さは地上六十尺にして、貯水槽は一邊十尺の八角形、常に五百石の水を貯ふ倒壞の方向は稍眞南に近し、鐵筋は腐蝕の狀態より見るに附着力不足なるものあり、繼手は數本の吋徑の鐵桿を緊結せるも附着力惡し、次に沿岸の煉瓦煙突は殆んど破壊せり、本寫眞は未だ倒壞せざるも、龜裂甚しく危險の狀態に在り
(5) View of the Broken Water Tank, Osaka Factory of Teikoku Seima Kaisha.

